

# 「県立高校改革リーディングプロジェクト推進事業」の事業紹介等について

## 揖斐高等学校

全日制、普通科 普通科ビジネスコース 生活環境科

(事業の名称) 揖斐高版デュアルシステムの開発  
～ 揖斐高 next innovation (就業実習への取組) ～

(事業の対象の学科等) 全日制、普通科

### 1. 事業の紹介

#### ■事業の概要

高校段階の学力の定着と向上、体系的・実践的なキャリア教育の推進を領域とする取組。

地域の外部リソース（行政、企業、商工会議所等）との連携による教育資源を活用した就業実習を中心に単位の認定を行う学校設定教科・科目『デュアル実習』（仮称）の開設を研究します。「やるべきことを考え、学ぶべきことを見付ける」目的意識の育成を目指した、実践的取組を行います。

#### ■事業の進捗状況

##### (1) 先進校への視察

平成16年度、平成17年度に文部科学省から研究指定を受けた学校を中心に、本校の実施計画規模に類似する学校や校種等を考慮して選択しました。

##### ・視察の観点

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| (ア) デュアルシステムの概要 | (イ) デュアルシステムの実施方法 |
| (ウ) リスク管理について   | (エ) デュアルシステムの成果   |
| (オ) デュアルシステムの課題 | (カ) 経費            |



##### (2) 講演会の実施

本事業の取組の一つとして、基調講演を実施しました。県議会議員、揖斐川町内各中学校の保護者の方、揖斐高校保護者の方、揖斐川町内教育関係者、岐阜県教育委員会の先生方、各高等学校の先生方等多くの方々参加了。60分の講演内容は、実に多くの示唆に富んでいました。

ア 実施日 平成25年10月19日（土） 14:00～15:00

イ 会場 揖斐川町谷汲サンサンホール

Tel 0585-56-3733

〒501-1314 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲名礼 264-22

ウ 対象 揖斐川町内各中学校保護者、揖斐高校保護者、揖斐川町商工会

エ 講師 児美川 孝一郎（こみかわ こういちろう）法政大学キャリアデザイン学部教授

オ 演題 『若者の就職が困難な時代に 一保護者、学校、地域にできること』

カ 主管 岐阜県立揖斐高等学校（県立高校改革リーディングプロジェクト推進事業） 揖斐川町教育委員会

キ 費用 150,000円 岐阜県立揖斐高等学校（県立高校改革リーディングプロジェクト事業）支出



##### (3) 企業見学会の実施

##### ア 目的

平成25年度、県立高校改革リーディングプロジェクト推進事業の実施にあたり、就業に関わる学習（企業見学会）を実施することにより、勤労観・職業観を養い、主体的に進路を選択する能力や問題を解決する能力を身に付けて、将来の在り方や生き方を考えさせることを目的に実施しました。

平成27年度実施予定のデュアルシステム実施に向けての基礎研究及び事前指導として実施しました。

イ 時期 : 平成26年1月23日（木） 13:20～15:10

ウ 見学企業 : アピ株式会社 本巢工場

(〒501-0474 本巢市国領 98-1 Tel 058-323-0833)

株式会社 大鹿印刷所

(〒501-0512 揖斐郡大野町上秋 357 Tel 0585-36-0001)

エ 対象生徒 : 平成25年度1年1組（普通科） 17名

平成25年度1年2組（普通科ビジネスコース） 17名



#### (4) 揖斐校版デュアルシステムの開発

「デュアル実習」実施に向けて、企業への説明を主な使用目的として、「概要図」及び「実施の手引き」を作成しました。今後、生徒の希望業種を考慮しながら、企業との連携を図る際の資料とします。

ア 「概要図」作成

イ 「実施の手引き」の項目

- (ア) 揖斐高版デュアルシステムとは (イ) 揖斐高版デュアルシステムの実施方法  
(ウ) リスク管理について (エ) Q&A (オ) デュアル実習に関わる様式集

#### (5) 学校設定教科・科目『デュアル実習』の開設準備

ア 学校設定教科実施計画表

- (ア) 教科名 『デュアル実習』 (イ) 教科の目標 (ウ) 科目名

イ 学校設定科目実施計画表

- (ア) 科目名『デュアル実習』 (イ) 科目の目標 (ウ) 科目の内容 (エ) 指導計画  
(オ) 指導の進め方と内容の取扱い (カ) 準教科書等

ウ 具体的な指導

- (ア) 平成25年度入学生(平成27年度3年生)教育課程表 普通科  
(イ) 平成26年度入学生(平成28年度3年生)教育課程表 普通科  
(ウ) 授業配置 (エ) 担当教員 (オ) 授業の流れ (カ) 評価の方法

エ 年間指導計画

#### ■成果の分析と課題

- ・今年度は、事業の研究と準備に充てています。平成26年1月から学校設定教科・科目「デュアル実習」の受け入れ先の開拓を始めました。平成26年2月末日現在、受け入れの返事をいただいている企業は3社です。7月頃を目途に今後も増えるよう働き掛けていくことや地道に本校の取組を説明していく必要があります。
- ・事業の研究、準備と平行して、生徒への指導も始めました。「デュアル実習」を平成27年度3年生の普通科で実施することから、平成25年度1年生の普通科を対象に指導を始めました。「キャリア開発実習」と銘打ち、地元企業2社に企業見学を依頼、実施しました。就職を希望する生徒にとって、企業の様子を目の当たりにすることは初めての機会であり、大きな興味と関心をもったようです。
- ・校内体制(組織、生徒への指導)の確立  
県外視察から、初年度実施に当たっては、校内体制の確立を図り、学校担当者が変わることがないように、企業からの信頼を図っていく必要があると考えています。
- ・学校設定教科・科目「デュアル実習」  
実習日の曜日を年間固定することから、校内授業日(実習のない日)の在り方を検討する必要があります。人員の問題や時間割上の問題も含めて、細部を検討していく必要があります。

#### ■自校の成果を他校が活用する場合の留意点等

- ・準備段階にあり、特記事項はありません。

## 2. 今後の予定

#### ■平成26年度の予定

- 6月 該当生徒対象にデュアル実習実施の希望調査
- 7月 希望生徒の保護者対象にデュアル実習の実施に関する説明を実施
- 7月以降 実習受入企業対象の実習実施説明を行う。
- 1月 実習受入企業、実習生徒保護者、学校 三者での受入に関する覚書調印

#### ■公開行事の御案内

現在、公開行事の予定はありません。